令和7年度農林水産総合センター「夏の体験教室」の開催状況について

農林水産総合センターでは、農林水産業への関心と理解を深めてもらうとともに、農林水産総合センターの業務を広く県民に紹介するため、児童や生徒等が 農林水産物に関する実験や観察を行う「夏の体験教室」を開催しました。

7月22日(火)から9月4日(木)にかけて、県内5つの研究所や農業大学校で7つのテーマの体験教室を開催し、46組105人の児童や生徒、保護者の方に参加いただきました。

○チリメンモンスターを探せ! (主催:水産研究所)

日時:令和7年8月1日(金) 参加者10組27人

場所:瀬戸内市牛窓町鹿忍(水産研究所)

内容:選別前のチリメンを使いフグやイカなどの稚魚を探す。



【施設見学(おさかな学習室)】



【チリメンモンスター探しに挑戦中】

- ・モンスターを探すのが楽しかった。
- さかなのことが大好きになった。また来たい。
- ・施設の見学、特に大きな水槽が勉強になった。
- ・大人も楽しめるイベントでとても充実した時間になった。 などの感想をいただきました。

○見て!さわって!野菜や花ができるまで! (主催:農業研究所)

日時:令和7年8月5日(火) 参加者8組23人

場所:赤磐市神田沖(農林水産総合センター)

内容:野菜や花ができる仕組みについて紹介、ミニトマトやナスの収穫体験





【野菜や花が育つ仕組みを説明する様子】

【収穫体験の様子】



【試食会の様子】

- ・トマト嫌いでも、食べられるくらいおいしかった。
- ・次年度も体験教室に参加したい。明日も来たい。 などの感想をいただきました。

○遺伝子にふれてみよう! (主催:生物科学研究所)

日時:令和7年8月6日(火) 参加者5人

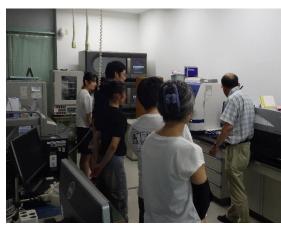
場所:吉備中央町吉川(生物科学研究所)

内容: PCRを使った植物の DNA の分析体験や生物科学研究所の施設見学





【専門研究員と遺伝子について学習】



【研究施設の見学】

- ・授業で習った言葉での説明があり、分からないところもしっかりと教え てもらい、とても良い学びとなった。
- ・実験器具も、ピペットマンや遠心分離機など普段見ないようなものが多 く、とてもわくわくした。
- 研究員との食事会では聞きたいことを深く聞けた。などの感想をいただきました。

○森の恵みを体験してみよう! (主催:森林研究所(林業研究室))

日時:令和7年8月7日(木) 参加者3組9人

場所:勝央町植月中(森林研究所)

内容:葉っぱを使ったスタンプやアクセサリーを作成する。





【樹木の葉でスタンプを作成する様子】

【レジンアクセサリーを作成する様子】





【教室で作成したアクセサリーとバッグ】

- ・押し花や種子等、音や形を比べながら植物に親しめ、葉の形の違い を学びながら楽しくできた
- ・勝央町産の材料が用意されており、娘も興味をもって取り組んだ。 親子で本当に良い時間を過ごせた。 などの感想をいただきました。

○木の良さを体験してみよう! (主催:森林研究所(木材加工研究室))

日時:令和7年8月8日(金) 参加者5組11人

場所:真庭市勝山(森林研究所(木材加工研究室))

内容:森林や木の話、ヒノキを使った木工体験や研究施設の見学。





【木材について学習する状況】

【施設見学の状況】



【木工体験の様子】

- ・鳥の巣箱型の貯金箱づくりが楽しかった。
- ・割りばしの樹種など、種類によっていろいろと違うとは思わなかった。
- ・柱材の強度試験で、木が割れるのが楽しかった。 などの感想をいただきました。

○卵の殻を使って工作をしよう! (主催: 畜産研究所)

日時:令和7年8月9日(土)

参加者 11 組 18 人

場所:美咲町北(畜産研究所(まきばの館))

内容:卵の殻を再利用して自分だけのフォトフレームを作る。



【フォトフレームの作成状況】



【完成したフォトフレーム】

- ・今回のフォトフレーム工作を夏休みの宿題として持っていきたい。
- ・鶏卵や鶏肉がどのような過程を踏み、食卓まで届くかがわかった。 また、卵を生む鶏にもいろいろな種類があることがわかった。 などの感想をいただきました。